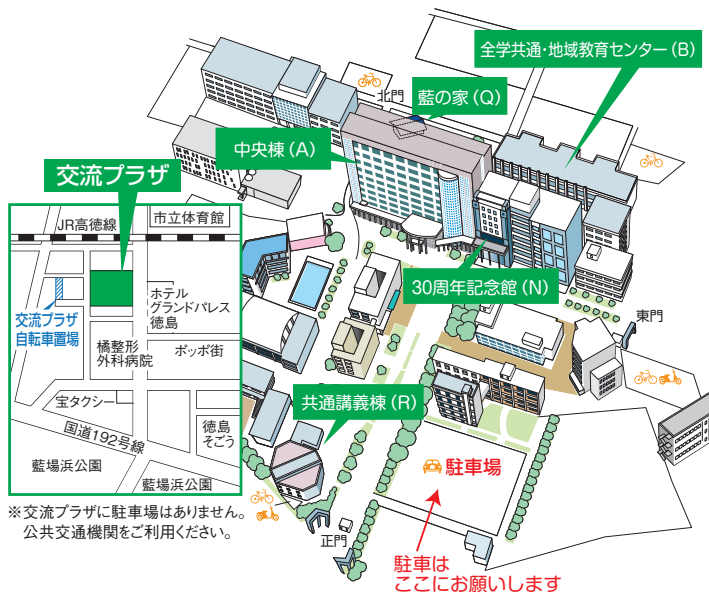




開講場所

N209	四国大学30周年記念館209教室
N408	四国大学30周年記念館408教室
B201	四国大学全学共通・地域教育センター201教室
A1019 A1020	四国大学中央棟1019・1020実習室
A818	四国大学中央棟818実習室
R101 R102	四国大学 共通講義棟101・102教室

---キリトリ---

郵便はがき

62円切手
(10月以降63円)
をお貼り
ください

7 7 0 0 8 3 1

徳島市寺島本町西 2 丁目35-8

四国大学交流プラザ

生涯学習センター事務室 行

新あわ学コースのお申し込みは…

- ① 申込はがき
- ② ファクシミリ: 088-602-4861
- ③ メール
sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

上記いずれかにより、「四国大学 生涯学習センター事務室」まで、お申し込みください。

注)・申し込みは、なるべく講座7日前までをお願いします。
・各講座とも定員になり次第、募集を終了させていただきます。

四国大学会場 徳島市応神町古川字戎子野123-1 TEL 088-665-1300(代)



配信講座サテライト会場

※「配信講座」とは、遠方の方にもご参加いただけるよう、四国大学で行われる講義を下記のサテライト会場 2ヶ所にリアルタイムで動画配信し、スクリーンにて受講いただくものです。本コース **配信** マークのあるものが対象となりますので、申込み時は受講希望場所をご指定ください。

美馬市会場

(四国大学西部SSO)

美馬市脇町
大字猪尻字西分116番地1
美馬市地域交流センター
(ミライズ) 2階
集いのハコ
TEL 0883-53-2419



阿南市会場

(阿南市商工業振興センター)

阿南市富岡町今福寺34-3
TEL 0884-24-3232



問い合わせ先

四国大学 SUDACHi推進室「新あわ学コース」事務局

〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1

TEL 088-665-9953 Fax 088-665-9982

E-mail sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

第3回

あわ検 定

令和2年

2月24日 月・振

13:00~14:00(受付12:00~)

■ 会 場 四国大学 共通講義棟

(徳島市応神町古川字戎子野123-1)

■ 参加費 無料 ■ 申込み 事前申込制

■ 定 員 400名(先着順)

※受検申込書は9月頃から配布いたします。多数のご参加をお待ちしております。

主催 四国大学 SUDACHi推進室「あわ検 定」実行委員会

まなびーあ徳島

新あわ学コース



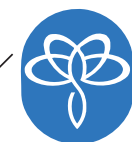
令和元年度 7月▶2月

受講料…無料

(体験講座は実費負担です)

*1回につき2単位修得できます
(体験講座1単位)

徳島県立総合大学校



SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

まなびーあ徳島 **新あわ学**コース

徳島のことについて歴史や文化などを体系的に学び、地域に愛着と誇りを持ち、徳島の魅力を再発見していただくことを目指します。

※講座開講場所の詳細は裏面に記載しています。
 ※「体験講座」に関しては、申込後詳細をご案内いたします。
 ※「配信講座」の詳細は裏面に記載しています。

歴史	A1901 徳島の歴史	配信	徳島県立文書館 金原 祐樹
	8/6火	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	徳島の歴史には、徳島という地域なりの特徴があります。古代、阿波の国が置かれてから、現代に至る徳島の歴史を地図や古文書で確認し概観しながら、徳島の歴史の特徴を探っていきます。		
	A1902 四国遍路の歴史 ～ その成立を探る ～		徳島県立博物館 長谷川賢二
	11/12火	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	四国遍路は、古代・中世に修行として原型が形成され、江戸時代にいたって現在のような八十八か所巡礼の形態となります。この講座では、修行から札所巡礼への移り変わりについてとらえています。		
	A1903・A1904 (セットでご受講下さい)		四国大学文学部 須藤 茂樹
	阿波の青石と庭園文化 体験		
	11/14木	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 25名
	11/21木	9:30-16:00 現地 (出発・帰着：四国大学)	■募集定員 25名
	徳島市国府町の巨石が立派な「国分寺庭園(国指定名勝)」、石井町の修景がなった「童学寺庭園(町指定名勝)」、美馬市美馬町の県下最古の庭園とされる「願勝寺庭園(県指定名勝)」を巡り阿波の庭園文化の特質を学んでいきます。		
	A1905 『平家物語』に登場する阿波出身の人々 配信		四国大学文学部 會田 実
	11/29金	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	『平家物語』に登場する阿波出身の重要人物・阿波水軍の長[田口(粟田)重能]、後白河法皇側近[藤原師光(西光)]、鬼界ヶ島流人[平康頼] 一についてお話しします。		
	A1906・A1907 (セットでご受講下さい)		徳島大学 平井 松午
	吉野川の阿波藍 体験		
文化	7/10水	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 20名
	7/17水	9:30-16:00 現地 (出発・帰着：四国大学)	■募集定員 20名
	吉野川流域では、水害防備のための竹林・搔寄堤を活かして近世以降に藍作が盛んとなり、現在も高石垣家屋、藍屋敷、高地蔵などが残っています。本講座では、こうした洪水遺産を通して吉野川流域での藍づくりを振り返り学んでいきます。		
	A1908 シラーの詩『歓喜に寄せて』とベートーヴェン『第九』		放送大学 石川 榮作
	7/11木	13:00-14:30 四国大学交流プラザ4F第2セミナー室	■募集定員 30名
	ベートーヴェン『第九』の合唱は徳島でも毎年恒例になっていますが、その中のシラーの原詩の内容についてはあまり知られていません。本講演では、ベートーヴェンはシラーの詩をいかに自分の交響曲の中に取り入れたのか、どのようなメッセージを込めたのか、シラーの詩とベートーヴェンとの関係を詳しく解き明かします。		
	A1909 みんなで楽しむ阿波踊り		徳島城博物館 小川 裕久 四国大学 藤本 賢一 石川 翔子 井内香奈江
	7/18木	13:00-14:30 四国大学 B201	■募集定員 30名
阿波踊りは、400年の歴史を持ち世界にもその名を知られ、日本を代表する伝統芸能の一つと言われております。その、阿波踊りの歴史を学び、実際に体験として「男踊り・女踊り」を踊り、阿波の魅力を身体で体感していきます。			

文化

文 化	A1910	徳島県立 阿波十郎兵衛屋敷 佐藤 憲治
	阿波人形浄瑠璃の魅力 ～地域の風土や歴史とともに～	体験
	8 / 23金	13:00-14:30 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
	吉野川～阿波藍～阿波人形浄瑠璃とつながる徳島県の近世以降の文化史。なぜ徳島で400年以上も人形浄瑠璃という文化が受け継がれてきたのか、その背景と阿波人形浄瑠璃の魅力についてお話しします。	■募集定員 30名
	A1911	阿波忌部氏 御殿人 三木 信夫
	平成の大嘗祭と 阿波からの鹿服調進 ～日本の伝統を守り伝える～	
	8 / 27火	13:00-15:20 四国大学 R101
	新天皇の即位関連儀式である『大嘗祭』において、麻の織物『鹿服』を古代より調進してきた阿波忌部氏。この度、令和大嘗祭調進の任にあたる三木信夫氏が前回の平成大嘗祭の貴重な資料を交えながら解説していきます。	■募集定員 100名
	A1912	徳島大学 社会産業理工学研究部 堤 和博
	阿波国府跡出土木簡と 「令和」の梅花宴	
	10/ 8火	13:00-14:30 四国大学 N209
	阿波国府跡観音寺遺跡から出土した和歌を習書した木簡と、「令和」の典拠となった序文を持つ『万葉集』に載る梅花宴の関連を考え、ひいては、古代の阿波国支配方法の一端に触れます。	■募集定員 30名
	A1913	四国大学生生活科学部 有内 則子
	阿波藍で染める	体験
	10/31木	13:00-15:00 四国大学 藍の家
	徳島は、藍染めの元となる藍染料「築（すくも）」づくりの本場として、現在もその伝統が引き継がれています。伝統的技法をとおし、阿波藍について学んでいきます。実際に、ハンカチを使い藍染を体験していきます。	■募集定員 20名
	A1914	那賀ウッド 庄野 洋平 四国大学文学部 フェネリーマーク
	那賀町木頭「林業」について ～みんなでガロに挑戦～	体験
	7 / 7日	9:30-17:30 現地（出発・帰着：四国大学）
	徳島が誇る木頭川について学び、ナカ奥伝統の技「木頭川一本乗り」の名人から、清流・那賀川で丸太に乗る「コツ」を伝授してもらいます。	■募集定員 10名
	A1915	四国大学生生活科学部 上野 昇
	「東祖谷」祭りと 世界農業遺産を歩く	体験
	9 / 13金	8:30-19:00 現地（出発・帰着：四国大学）
	中秋の名月の頃、ソバの花が咲き誇る東祖谷では、平家落人伝説が色濃く残る神社で例大祭が行われます。この「にし阿波地域」は世界農業遺産に認定され、その独特な農法や祭りの現状を住民との交流の中で学びます。	■募集定員 20名
	A1916	【問合先】 徳島県南部総合県民局 0884-74-7319
	南部の魅力再発見講座	体験
	詳細はHP（ https://syougai.tokushima-ec.ed.jp/srch_event/ ）に記載	
	地域の良さやその価値を再発見するため、南部圏域ならではの地域資源をテーマとしたフィールドワークや座学を実施します。	
	A1917	【問合先】 徳島県西部総合県民局 0883-53-2420
	西部の魅力再発見講座	体験
	詳細はHP（ https://syougai.tokushima-ec.ed.jp/srch_event/ ）に記載	
	親子を対象に吉野川でウォータースポーツを体験する講座や、阿波藍の歴史についての講座などの開催を予定しています。お子様も大人の皆様も、にし阿波の魅力について学んでみませんか。	

自然·地理

自然・地理	A1918・A1919 (セットでご受講下さい)		徳島大学 石田 啓祐
	徳島の地質と文化財2019 ～ 穴喰浦の化石澁痕と竹ヶ島石 ～		体験
	7 / 19金	15:00-16:30 四国大学交流プラザ4F 第2セミナー室	■募集定員 20名
	7 / 25木	8:00-17:30 現地 (出発・帰着：四国大学・ホテルサンルート徳島前)	■募集定員 20名
	徳島には、プレート運動による日本列島の地盤の成り立ちを知る上で重要な文化財がいくつも存在します。この講義では、令和天皇が、皇太子時代の昨 2018年に行啓された国指定天然記念物「穴喰浦の化石澁痕」や「康暦の碑」を訪ね、「竹ヶ島石」の特徴と「徳島城表御殿庭園」の石材のミステリーについても紹介します。		
	A1920		徳島大学 人と地域共創センター
	上勝の棚田		配信 澤田 俊明
	8 / 1木	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	日本の原風景といわれる棚田は、食料の生産、ダム、生物生息空間、景観など、棚田には小さいけれど多くの機能を持っています。上勝町には、重要な文化的景観の檜原の棚田、にほんの里100選の八重地の棚田など国内有数の棚田群があります。講座では、歴史、景観、保全活動など、上勝町の棚田の魅力や価値を学びます。		
	A1921		徳島県立博物館 茨木 靖
	徳島の植物について		
	12/10火	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
産業・経済	A1922		(公財) 徳島経済研究所 竹中 淳二
	徳島県の経済と産業 ～特徴と今後の期待～		
	11/19火	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	徳島県は、人口や経済など規模から見た場合は全国で下位になり、構造的課題も抱えています。一方で暮らしやすい豊かな地域でもあります。そうしたことを様々なデータで示し、今後の期待できる分野についても探してみます。		
くらし	A1923		徳島県立農林水産総合技術支援センター 廣瀬 祐史
	徳島県の農林水産業について		
	12/6金	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	本県の一次産業の現況について学びます。市場で取り扱われる県産野菜の状況や、ICTで環境操作するトマトハウスなど技術開発の現状、また温暖化対策にもつながる本県ブランド農産物の新品種の開発など様々な側面からお話しします。		
	A1924		徳島大学 社会産業理工学研究部 塚本 章宏
	GPS・デジタルマップから徳島の防災・安全を考える		
	8 / 8木	10:00-12:00 四国大学 N209, N408 13:00-16:00	■募集定員 30名
	昔から津波や洪水などの災害に見舞われてきた徳島には、津波碑や高地蔵などの災害から身を守るための手がかりが地域に多く残されてきました。現代の技術（GPS・デジタルマップ等）を用いて、こうした先人からの教えを保存・活用しながら、徳島の防災・安全について学びます。		
	A1925		徳島大学 仙波 光明
	奈良時代～文献に登場する阿波弁～		
	8 / 20火	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	万葉集の時代の方言であり、阿波弁につながる言葉を取り上げます。「ヤネガコワル」の「ヤネ」の使用を溯ると奈良時代東国方言にたどり着きます。また、奈良時代東国方言と同じ語形のヤデの意味がすれて県内に残っています。また県内方言集に多く見られるオサギ(兎)・オナギ(鰻)などを取り上げ、解説していきます。		
	A1926		四国大学生生活科学部 高橋 啓子
	ふるさとの味を楽しもう! 体験		
	9 / 10火	10:00-13:00 四国大学 A1019, A1020	■募集定員 30名
	徳島は南部の沿岸地域から西部の山間地域と気候風土が大きく異なります。そのため、沿岸地域では海のもの、山間部では山のものなどそれぞれの土地の産物をつかった郷土の料理が誕生しました。懐かしいふるさとの味を再現し、味わってみましょう。		
	A1927		徳島大学 社会産業理工学研究部 高橋 晋一
	阿波の年中行事		配信
	9 / 20金	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	本講義では、徳島の伝統的な年中行事（民俗行事）がいかに地域の風土（自然・文化環境）と密接に結びつき、生活の中で意味を持ったものとして受け継がれてきたかを、県内各地の事例をふまえ、季節を追って眺めていきます。		

くらし	A1928	四国大学短期大学部 植田 和美	
	阿波のそば文化～そば米～ 体験		
	10/5 土	10:00-12:30 四国大学 A818 実習室	■募集定員 24名
	ソバを粉にしないで実のまま食べる食文化は全国でも珍しく、徳島県には祖谷地方の郷土料理として「そば米雑炊」があります。本講座では、そば米をテーマとした講義と実習（そば米雑炊、そば米を使ったスイーツの試食あり）を行います。		
	A1929	四国大学 安永 潔	
	藍の可能性 体験		
	10/25 金	13:30-15:30 四国大学 A1019,A1020	■募集定員 20名
	「食べる藍」の効果やその現状について学ぶとともに、藍の葉を利用したクッキー作りを体験していただきます。この機会に、藍の魅力を再認識するとともに藍の可能性を考えてみましょう。		
	A1930	奈良大学文学部 岸江 信介	
	祖谷地方に残る京ことば 配信		
	12/20 金	13:00-14:30 四国大学 N209	■募集定員 30名
	徳島県祖谷地方にはかつて日本の中央語であった古いことばが多く残存しています。これら古く京都で使用されたことばで祖谷地方で今なお使われていることばをピックアップし、紹介していきます。		
その他	A1931	四国大学 地域教育・連携センター 峪口有香子	
	あわ検定対策講座		
	12/16 月	13:00-14:00 四国大学 N209	■募集定員 30名
	「あわ検定」は、徳島の歴史・文化・自然・産業・くらしなどについて深く掘り下げるとともに、その魅力を再発見・再認識していただき、さらに観光振興にもつなげ、徳島の活性化を図ることを目的とした検定です。「第3回あわ検定」にむけて、一緒に学習していきます。		
	A1932		
	あわ検定		
	2/24 月祝	13:00-14:00 四国大学 R101,102	■募集定員 400名
	近年、地域や物事に関する知識を問う「ご当地検定」が、様々な地域で実施されています。「あわ検定」を通じて、地域に愛着をもっていただき、さらには、誰よりも徳島通を目指しご受検ください。 ※なお、検定申込開始時期は10月からとなります。受検申込書は、9月配布予定の「あわ検定」チラシの裏面になりますので、別途申込お願いいたします。		

講座申込書

「新あわ学コース」受講を申し込みます。
配信講座は、四国大学・美馬市・阿南市から受講希望場所を○で囲んでください。

[illegible]